

平成30年度の学校評価（評価結果）

本年度の 重点目標	文武両道を目指し、「活力」にあふれる学校作りのため、地域・保護者・生徒のニーズを踏まえ、授業等あらゆる教育の機会を通して、知・徳・体の調和のとれた生徒の育成を図る。また、生徒の自律の精神の確立をめざし、コミュニケーション能力を養い、帰属意識を高め、「心ゆたかにたくましく生き抜く力」を身につける人間教育を推進する。		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	評価結果
防災とPTA活動 (総務部)	①防火防災意識の向上	・防火防災意識を喚起し、災害安全に関する取組を推進する。	・「防災避難訓練（2回）」、「被災状況等の連絡訓練」、「防災講話」、「高校生防災セミナー」の参加生徒による文化祭企画等の実施により、災害に対する日常かつ主体的な防災意識の向上につなげることができた。
	②保護者と学校との連携強化	・PTA活動の活性化とその活用を図る。	・「興道だより」等印刷物、ホームページ、きずなネット等により、PTA関連行事について積極的に発信し、多くの保護者の参加を得ることができた。また、2学期に実施した保護者アンケートの結果は、概ね本校の教育実践に対する理解・協力が得られていることを示しており、今後さらに、PTA活動を軸に連携強化を図っていきたい。
学習指導 (教務部)	類型、クラス編成に合った授業展開、学習指導方法の研究実践をする。	・個々の生徒に応じた授業内容を工夫し、授業改善を図る。	・参観授業週間と学習評価アンケートを通じ、学習指導力の研鑽および生徒の学習環境の変化の把握に努めた。生徒の主体的な活動を促す工夫やプロジェクトの活用も着実に進んでいる。今後も生徒の実情に合った授業のあり方を模索していきたい。
		・家庭学習を充実させる。	・学習アンケートの実施結果を分析し、主体的な学習習慣の定着につなげるべく、担任による面談、日々の学習記録による振り返り、教科担当者による学習指導等が粘り強く行われた。
生活指導 (生徒指導部)	①安全教育の充実	・校外交通安全指導の実施 ・交通安全教育の実施	・登校時における交通安全指導を年2回（そのうち1回はPTAと共催）、下校時における交通安全指導を年5回、交通安全教室を全校生徒対象に1回実施し交通安全意識の向上に努めた。
	②いじめ防止対策の推進	・いじめの早期発見に係わる取組の実施	・いじめアンケートを年3回実施した。記入のある生徒全員と面談し、いじめの早期対応に努めた。
進路指導 (進路指導部)	生徒の適性、能力、志望に応じた進路指導	・大学入試の研究	・地元国公立大学の問題について各教科で分析・検討を進めることができた。また、各教科でまとめた分析結果については生徒に配布し、意識の高揚につなげることができた。
		・適切かつ迅速な進路情報の提供	・各学年において、生徒及び保護者に対して外部講師を招いて進路講演会を開催し、最新の進路情報を提供することができた。また、新入試に関する情報を進路だより等を活用して生徒及び保護者に提供することができた。
保健・環境美化 (保健部)	①心身の健康の保持増進	・心身の健康の保持と、増進を図る。 ・特別支援が必要な生徒を理解し、その指導方法を充実させる。	・「保健だより」による健康的な生活の啓発活動や昼放課の換気活動等を通して、生徒自らの心身の健康への意識の向上に努めた。 ・定期的な特別支援教育相談委員会の開催による生徒情報交換、スクールカウンセラーからの情報提供など、職員が生徒情報を共有しながら生徒理解に努めた。
	②安全で快適な学習環境の整備	・環境美化活動の推進と危険箇所の掌握に努める。	・定期的な安全点検により必要な箇所の修理をおこない、生徒美化委員の清掃点検より重点清掃箇所の指導を実施するなど良い学習環境の維持に努めた。

項目(担当)	重点目標	具体的方策	評価結果
図書館活動 (図書部)	読書の奨励と図書館の利用促進	<ul style="list-style-type: none"> 読書の機会を設定し、有効に活用させる。 図書の充実を図り、委員会活動による情報提供を押し進め、生徒・職員が利用しやすい図書館を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 校内読書感想文コンクール、総合読書の設定など本に触れる機会を提供し、読書に対する興味・関心を抱かせることができた。 購入図書の厳選を行うと同時に、従来の「図書館だより」に工夫を加えたり、新企画である「POP制作」などを委員会活動において導入したりして、図書の充実や情報提供を図ることができた。
情報活動 (図書部)	情報管理意識の徹底と開かれた学校教育	<ul style="list-style-type: none"> 職員に対して個人情報の管理意識を持たせる。 学校Webページの改善 	<ul style="list-style-type: none"> Keepass を用いたパスワード管理が浸透し、情報資産の管理意識の徹底が図れた。 新システムを導入し、学校 Web ページの抜本的な改革が進んだ。
研修活動 (図書部)	校内研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> 授業参観の機会を積極的に活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科を問わず教員相互の交流を深められ、研修中の先生方にとっては、多くの助言やさまざまな意見を得られる良い機会となった。
生徒会活動 (特活部)	①興道祭の充実	<ul style="list-style-type: none"> 興道祭を通じて、創造力、自主性、協調性など社会に出て必要な力を養うことを目標に、各企画への支援をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 今年の興道祭のテーマは「はじける興道サイダー」であった。企画運営に当たって生徒会執行部を中心に多くの生徒が活躍できる場であり、各場所で多くのリーダーを養成できた。なお、体育祭は天候の都合で二日に分かれてしまったが、群団エールを中心に生徒が互いに高め合った。
	②部活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 多くの生徒がはつらつと日々の活動に参加できるよう支援し、公式戦・コンクール等の結果にも繋げる。 	<ul style="list-style-type: none"> 文化系、体育系ともに各部とも、日頃から効率よく、熱心に練習へ取り組み、成果を上げている。多くの部活動で総体予選や新人戦の県大会にも出場を果たしている。 部活動の週休養日を設けるなど新たな部活動方針を策定し、次年度につなげることができた。
1年生 「高校生としての基本的な生活習慣と自主的な学習習慣の育成」	①自主的に学習する姿勢と、積極的に諸活動に参画する姿勢の育成	<ul style="list-style-type: none"> 予習、授業、復習の学習サイクルを構築させる。 部活動、学校行事に積極的に参加させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎日の学習記録と担任からの助言をもとに、学習習慣を徐々にではあるが身につけさせることができた。 百人一首大会、球技大会を通じてクラス単位、学年単位での活動に積極的に取り組むことができた。
	②基本的な生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶の励行、時間やルールを守ることの徹底を図る。 睡眠時間を確保しながら、文武両道が実現できる生活リズムを確立させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 日々の指導や、行事を通して挨拶やルールを守る等、高校生として望ましい生活習慣を身につけさせることができた。 3学期以降、インフルエンザ等の体調不良で登校できない生徒が急激に増えた。来年度以降は特に冬場の健康管理について徹底させる必要性を感じた。
2年生 「進路実現に向けた学習習慣の確立と学校の中意識の高揚」	①進路目標の設定とそれに応じた主体的な学習習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> 総合学習、LTなどの進路行事を活用して目標校を設定し、主体的な学習をする環境を整える。 	<ul style="list-style-type: none"> 進路行事をとおして、自分の進路について幅広く考えさせることができた。また学習記録を付けさせ、その結果を生徒に還元した。学習習慣の改善に努めさせ、3年生にむけての準備をすることができた。
	②中心学年として、諸活動に積極的に参加する姿勢の育成	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事、部活動を通して、興道生としての帰属意識を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事では中心学年として、集団をまとめようと努力できた。また部活動ではチームの中心として、下級生の手本となるような姿を示すことができた。
3年生 「生徒の進路実現とたくましく生き抜く力の醸成」	①生徒の進路目標を実現するためのきめ細やかな支援	<ul style="list-style-type: none"> 担任面談や教科担任による学習指導、学年団の情報共有を通して、生徒一人一人に合った適切な進路指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒との面談を充実させ、生徒理解を深めることができた。また、学年団で日頃から情報共有を密にすることで、複数の教員で即時的に生徒指導に当たることができた。
	②進路目標に向けた学習指導とたくましく生き抜く力の醸成	<ul style="list-style-type: none"> 授業や補習を活用して基礎学力を高めるとともに、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通して、たくましく生き抜く力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎学力を高めるために、授業だけでなく補習や土曜学習会を活用した。与えるだけの指導ではなく、生徒が自分に必要な科目を選択する特別講義の数を増やし、生徒の自主的な学習をサポートした。生徒は積極的に講座を選び、家庭学習と結びつけて学習することができた。
総合評価	<p>保護者・生徒からのアンケートや生徒の実態を考慮して、授業や学校行事の改善に努めた。プロジェクトの活用など、生徒の主体的な活動を促す工夫や生徒の実情に合った授業を行い、進学実績も順調に伸びている。興道祭では、生徒会執行部を中心に多くの生徒が活躍し、互いの人格を尊重し助け合う精神を養うことができた。部活動においては毎日熱心に活動する生徒が多く、多くの部が県大会に出場した。</p> <p>一方、交通事故の増加、家庭での学習時間の減少などの課題もあり、今後も全教職員が一つになって、心ゆたかにたくましく生き抜く力を身につける人間教育を進めていきたい。</p>		